

避難に関する情報

避難準備情報	避難勧告	避難指示
<ul style="list-style-type: none"> ● 人的被害の発生する可能性が高まり、避難に時間を要する人は避難を開始する状況 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難に時間を要する避難行動要支援者などは、避難を開始する。 ○ 上記以外の方は、家族等との連絡、非常持ち出し袋の用意など、避難準備を開始する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 身の安全を確保できる場所に避難を行なう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人的被害の発生する可能性が非常に高く、切迫している状況 ● 人的被害が既に発生した状況 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難中の方は、確実な避難行動を行い、ただちに避難を完了する。 ○ 避難していない方は、ただちに避難行動に移り、その時間がないときは、生命を守る最低限の行動をとる。

逃げ遅れないために

● 正常化の偏見

自分のすぐ近くで災害が発生しても、「自分はその被害にあわない」と安全な方に思い、目の前の危険を過小評価して、自分は助かると思い込みがちです。日頃から災害時にどう対応すべきか考え冷静に行動することが大切です。

● 傍観者の効果

● 群衆の中では、自分は何もしなくても、誰かがしてくれると思込みがちです。危険を感じたら、自らが真っ先に行動して、隣近所に声をかけ一緒に避難することが大切です。

災害時における千葉県山武郡市の相互応援に関する協定

山武郡市の市町では、地震・津波・水害・火災等による大規模災害に対応するため、相互応援に関する協定を締結しました。この協定により、応援を要請した場合、山武郡市内の避難施設を利用することができることになりました。

緊急避難場所・避難所一覧

施設区分	施設名	避難できる災害の種類			所在地
		津波	地震	風水害	
避難所	中央公民館	※	○	○	片貝2915
	県立九十九里高等学校	○	○	○	片貝1910
	九十九里中学校	○	○	○	片貝1899-4
	豊海小学校		○	○	不動堂306
	片貝小学校		○	○	片貝3193
	九十九里小学校		○	○	小関1797-1
緊急避難場所	国民宿舎サンライズ九十九里	○			真亀4908
	株式会社メディセオ 九十九里研修センター	○			真亀4085
	シャロームⅡ	○			片貝1629
	宗教法人妙智會教団千葉聖地	○			片貝4184-1
	医療法人社団慈優会 住宅型有料老人ホーム シルバーシャドウ	○			片貝2705-7
	創価学会九十九里会館	○			片貝3409
	小関納屋地区津波避難タワー	○			小関2347-98

※ 中央公民館は、津波注意報発表時に自主避難場所として開設

大規模な災害時には、行政の対応能力に限界が生じることが考えられます。そのため、近隣の住民や自治区などによる助け合いは不可欠となります。平成7年の阪神・淡路大震災では、救助を必要とする人のほとんどが家族や近隣の方により救出されたといわれています。

いざというときに助け合うためには、日頃からの声のかけ合い、地域の行事への参加などによる地域のつながりが大切です。

避難行動要支援者を支えよう

避難行動要支援者とは ➡ 災害時に自力で避難したり、避難情報を入手したりすることが困難な手助けが必要な人のこと

● 日頃からの見守りと声掛け



日頃から挨拶をするなど、顔の見える関係作りをし、必要な支援内容などを話し合っておきましょう。

● 相手の立場に立って思いやりを



目や耳の不自由な人、車いすを使っている人など、相手の立場に立った支援をしましょう。

● 地域での協力支援体制を整える



地域の支援体制を具体的に決めておき、要支援者にも、地域の取り組みを知らせておきましょう。

自主防災活動に参加しよう

自主防災組織とは ➡

地域の人達が自主的に防災訓練や危険箇所の確認、災害時の避難誘導や救出活動などを行う組織のこと

自主防災組織は、自治区などの単位で防災活動を行う集まりのことで、災害発生時だけでなく平常時においても防災・減災の観点で活動する重要な役割があります。

「きっと誰かが助けてくれる」ではなく、「自分の身は自分で守る」という自助の精神に加えて、「自分たちの地域は自分たちで守る」という共助の精神で、お互いに助け合い、連携・協力して、災害に強いまちづくりをみんなで目指しましょう。

● 自主防災組織の活動例

平常時の活動	災害発生時の活動
○ 防災知識の普及	○ 情報収集・伝達
○ 地域の危険箇所の確認	○ 避難誘導
○ 防災資機材の整備	○ 救出・救護
○ 必要な物資の備蓄	○ 初期消火
○ 防災訓練の実施	○ 避難所運営・給食・給水

避難所では・・・

● 協働による避難所運営

安全・安心の場にお互いに励まし、助け合う生活再建を目指す



大切なのは役割分担 運営の様々な仕事を分担 自主性や協力が大切



プライバシーに配慮 高齢者や障害者、妊産婦、乳幼児など状況に対応した空間づくり



衛生的な環境づくり 保健対策、健康チェック ゴミ処理のルール



● 避難所生活のポイント

● 定期的に運動を

長時間、同じ姿勢のままですることによる「エコノミークラス症候群」を防ぐために、水分をよく摂り、ストレッチなどで定期的に体を動かしましょう。

● 心の健康にも要注意

大きな災害は心にも傷を与えます。心の傷は目に見えず、その影響は人それぞれです。不眠や不安など、心の不調を感じたら、周囲の人や医師などに気軽に相談しましょう。

● 学校との協力・共存

避難所の開設が長期化した場合、開設期間中に学校が再開される場合があります。学校の再開は復興の大きな一歩です。避難所は、学校と協力・共存関係にあることを念頭に生活する必要があります。